

2021年度 環境経営レポート

(活動期間：2021年4月～2022年3月)



作成日：2022年4月8日

承認	作成
藤山	村越

諏訪湖ハイトラスト株式会社

目次

1. 事業活動の概要	・・・	P	1
2. 主要設備概要	・・・	P	3
3. 実施体制	・・・	P	4
4. 環境経営方針	・・・	P	5
5. 環境経営目標と実績	・・・	P	6
6. 環境経営活動の結果と評価	・・・	P	7
7. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	・・・	P	15
8. 代表者による全体評価と見直し	・・・	P	16

はじめに

当社は2018年4月1日に、環境マネジメントシステムを立ち上げました。このシステムでは、当社の事業年度に合わせ、毎年4月から翌年の3月までをひとつの区切りとしています。

この「環境経営レポート」は、2021年度を対象にまとめました。

1. 事業活動の概要

1-1. 名称及び代表者名

会社名 : 諏訪湖ハイトラスト株式会社
代表取締役社長 : 山口 隆司
環境マネジメントシステム(EMS)代表者 : 藤山 和久

1-2. 所在地

〒394-0055 長野県岡谷市字内山 4769 番地 14

1-3. 環境保全関係の責任者及び担当者

EMS代表者 : 総括責任者 藤山和久
環境管理責任者 : 電気主任技術者 村越冬季
環境事務局 : 業務管理員, 事務員

1-4. 連絡先

TEL : 0266-78-1590
FAX : 0266-78-1591
E-mail : koshu3@takumatechnos.co.jp
HP : <http://www.suwako-ht.jp>

1-5. 事業内容

一般廃棄物処理施設の運営・維持管理業務

1-6. 事業規模

法人設立	:	2013年11月
資本金	:	30,000万円
処理対象物	:	可燃ごみ、破碎・選別後残渣（大型可燃ごみ）
処理能力	:	110t/日（55t/24h×2炉）
処理量	:	29,053.8 t/年（2021年度）
従業員	:	31名
延床面積	:	8,572.86 m ²
事業期間	:	2016年12月1日～2036年11月30日 (20年間)

1-7. 対象範囲

全組織・全活動

1-8. 事業概要

諏訪湖ハイトラスト株式会社は、湖周行政事務組合（岡谷市、諏訪市、下諏訪町）が発注する「諏訪湖周クリーンセンター（愛称：eco ポッポ）の運営・維持管理業務」を実現するために設立された特別目的会社（SPC）です。

本事業は、一般廃棄物処理施設である諏訪湖周クリーンセンターの運転、ユーティリティの確保、日常点検、定期点検、部品等の調査、補修等の運営維持管理を、2016年12月1日から2036年11月30日までの20年間にわたり実施するものです。

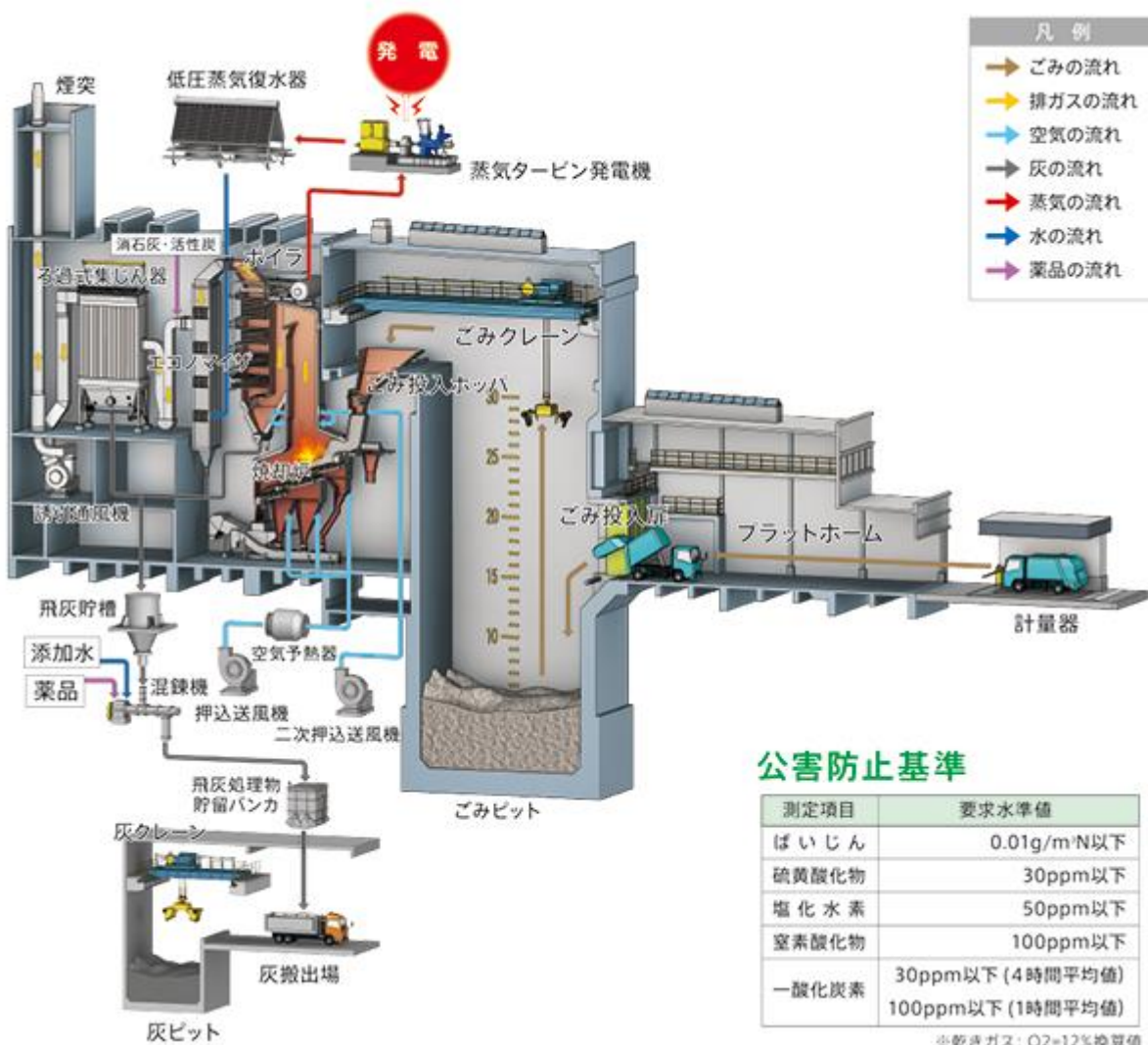
特別目的会社（SPC：Special Purpose Company）とは

事業の独立性の確保を目的に特別目的会社（SPC）を設立することで、出資者等の破たん等が生じた場合でも事業の実施に影響を受けない体制を構築することが可能です。

本事業で諏訪湖ハイトラスト(株)が特別目的会社（SPC）となり、20年間の運営維持管理を行います。

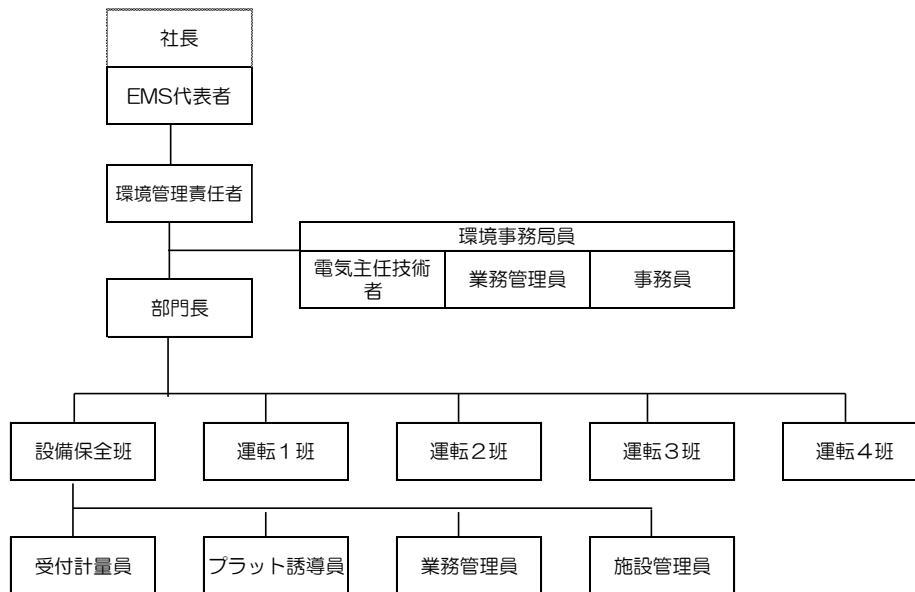
2. 主要設備概要

受入供給設備	計量器、ピット・アンド・クレーン方式
燃焼設備	全連続燃焼式焼却炉(ストーカ炉)
燃焼ガス冷却設備	ボイラ式
排ガス処理設備	ろ過式集じん器、有害ガス除去方式
灰出設備	● 焼却灰:加湿処理 ● 飛灰:薬剤処理
発電設備	蒸気タービン発電(発電出力 2,050kW)
通風設備	平衡通風方式



3. 実施体制

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
EMS代表者 (総括責任者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (電気主任技術者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認・評価 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局 (電気主任技術者、業務管理員、事務員)	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長 (運転責任者)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 教育、訓練の実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

4. 環境経営方針



1. 経営理念

諏訪湖ハイトラスト株式会社は、株式会社タクマと株式会社タクマテクノスにより設立された特別目的会社として、諏訪湖周クリーンセンターにおいて湖周行政事務組合との事業契約に基づき、一般廃棄物焼却処理施設の運営維持管理事業を実施する運営共同企業体です。

この事業の遂行にあたっては、株式会社タクマの社是「技術と人と地球を大切にする」および、本事業の基本方針である「自然を守り、人を育み、地域をつなぐ」事業所運営を目指します。

2. 活動指針

- 1) 当社の経営理念に基づき、運営維持管理業務の遂行にあたっては、次の活動を積極的に推進し、継続的に経営を改善します。
 - ① 搬入される一般廃棄物の適切な受付
 - ② 一般廃棄物の適正かつ効率的な処理
 - ③ 発生する排ガスの安定処理
 - ④ 従業員の実安全と健康を確保する安全管理
 - ⑤ 運営状況を地域住民に発信する啓発活動
- 2) 適用される環境関連法規および湖周行政事務組合など行政からの環境に関わる指示事項を遵守します。
- 3) 環境経営方針は全従業員に周知徹底し、一般にも公開します。

制定日：2018年 4月 1日

諏訪湖ハイトラスト株式会社

EMS代表者 藤山 和久

5. 環境経営目標と実績

5-1. 環境経営目標

No.	項目	単位	基準年度実績	年度目標	
			2017年度	2021年度	2022年度
1	CO2総排出量の削減	kg-CO2	140,697	113,174	105,704
2	ごみ発電量の確保	MWh	14,626	13,900	13,770
3	購入電力の削減	MWh	116.01	110.00	110.00
		kg-CO2	54,757	51,920	51,920
4	灯油使用量の削減	kL	34.5	24.6	21.6
		kg-CO2	85,940	61,254	53,784
5	消石灰使用量の削減	t	142.31	147.80	138.65
6	苛性ソーダ使用量の削減	L	3,762	3,175	3,175
7	塩酸使用量の削減	L	2,985	2,542	2,542
8	飛灰処理薬剤使用量の削減	L	17,975	14,769	13,442
9	上水使用量の削減	kL	10,209	13,028	11,560
10	焼却灰搬出量の削減	t	1,959	2,038	1,965
11	飛灰搬出量の削減	t	758	786	763
12	イベントの有効性の向上	回	2	2	1
13	緊急停止0（タービン非常停止）	回	3	0	0
	ごみ搬入量	t	28,986	27,968	27,758
	ごみ焼却量	t	30,301	28,339	27,983

(注1) 本施設の運転計画に基づいて算出するため、目標値が基準年度の実績値を超過する場合があります。

(注2) 購入電力のCO2排出係数：0.472kg-CO2/kWh（2017年度中部電力調整後排出係数）

5-2. 年度目標に対する実績と結果

No.	項目	単位	2021年度		
			目標値	実績値	結果
1	CO2総排出量の削減	kg-CO2	113,174	80,682	○
2	ごみ発電量の確保	MWh	13,900	14,844	○
3	購入電力の削減	MWh	110.00	83.74	○
		kg-CO2	51,920	39,525	
4	灯油使用量の削減	kL	24.6	16.5	○
		kg-CO2	61,254	41,157	
5	消石灰使用量の削減	t	147.80	135.41	○
6	苛性ソーダ使用量の削減	L	3,175	2,158	○
7	塩酸使用量の削減	L	2,542	1,700	○
8	飛灰処理薬剤使用量の削減	L	14,769	13,293	○
9	上水使用量の削減	kL	13,028	11,444	○
10	焼却灰搬出量の削減	t	2,038	1,918	○
11	飛灰搬出量の削減	t	786	740	○
12	イベントの有効性の向上	回	2	0	×
13	緊急停止0（タービン非常停止）	回	0	0	○
	ごみ搬入量	t	27,968	27,269	減少
	ごみ焼却量	t	28,339	29,054	増加

6. 環境経営活動の結果と評価

No.1 CO2総排出量の削減

2021年度	目標	113,174 kg-CO2
	実績	80,682 kg-CO2
	達成度	28.7 % 削減

主な取組内容

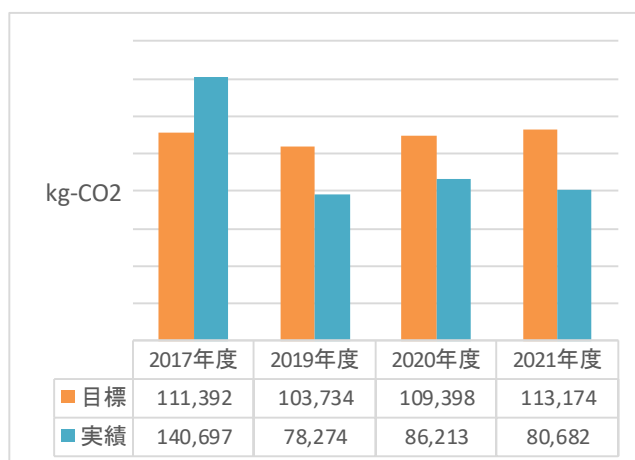
- ごみ発電量の確保
- 購入電力の削減
- 灯油使用量の削減

結果と評価

- 個別の目標をほぼ達成したことにより、本項目の目標を達成し取組みの成果を確認できました。

2022年度の目標

- 本項目に係る個別の目標を全て達成する事でCO2排出量の削減を図ります。



No.2 ごみ発電量の確保

2021年度	目標	13,900 MWh
	実績	14,844 MWh
	達成度	6.8 % 増加

主な取組内容

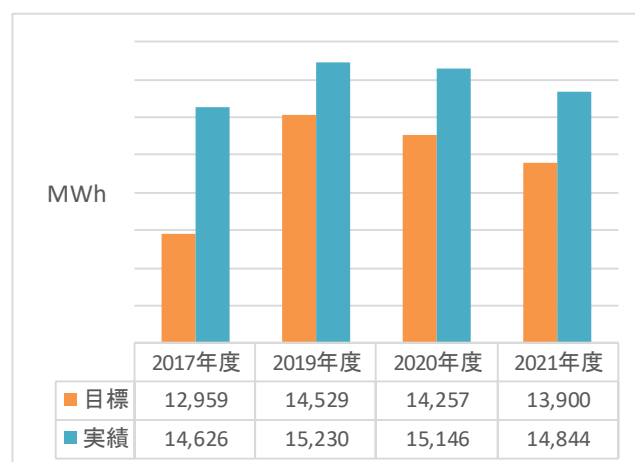
- 焼却炉の安定稼働

結果と評価

- 計画通りに焼却炉を操業したことにより、目標を達成できました。

2022年度の目標

- 焼却炉の安定稼働



No.3 購入電力の削減

2021年度	目標	110.00 MWh
	実績	83.74 MWh
	達成度	23.9 % 削減

主な取組内容

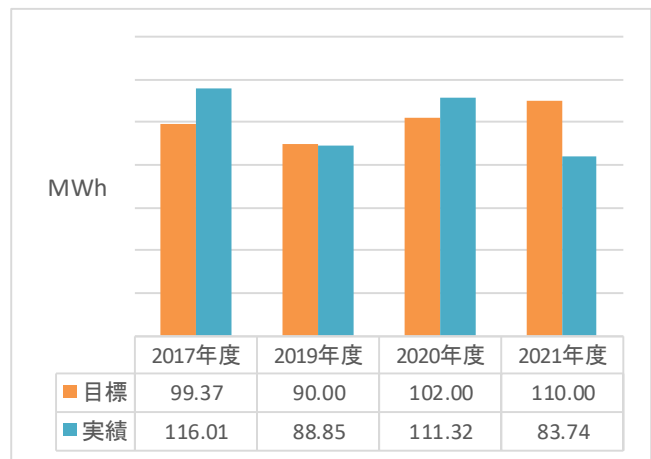
- ・ 場内空調および照明の管理
 - ① 場内・夜間の不必要な空調の停止
 - ② 空調管理表の運用
 - ③ 共通休炉期間の節電

結果と評価

- ・ 共通休炉期間において節電計画を実施しました。また空調管理表に基づき空調の適切な運転管理をしたことにより目標を達成できました。

2022年度の目標

- ・ 場内空調および照明の管理



No.4 灯油使用量の削減

2021年度	目標	24.6 kL
	実績	16.5 kL
	達成度	32.8 % 削減

主な取組内容

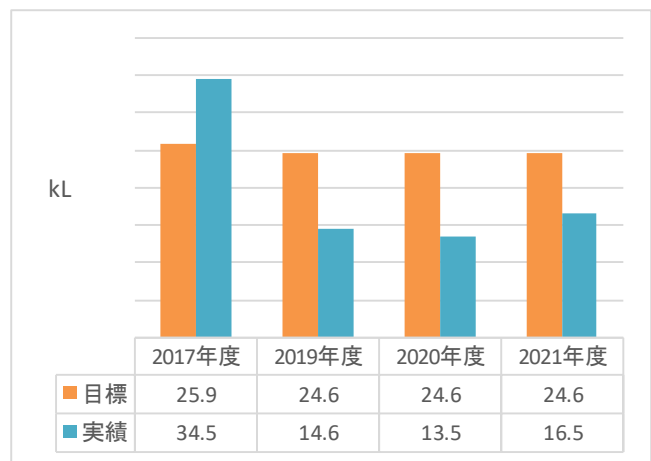
- ・ 焼却炉の立上げ立下げ工程の管理

結果と評価

- ・ 搬入ごみに水銀の混入があり、計画外の立下げに伴う灯油の使用がありましたが計画していた立上げ立下げ時の工程の管理により、目標を達成できました。

2022年度の目標

- ・ 焼却炉立上げ立下げ工程の管理

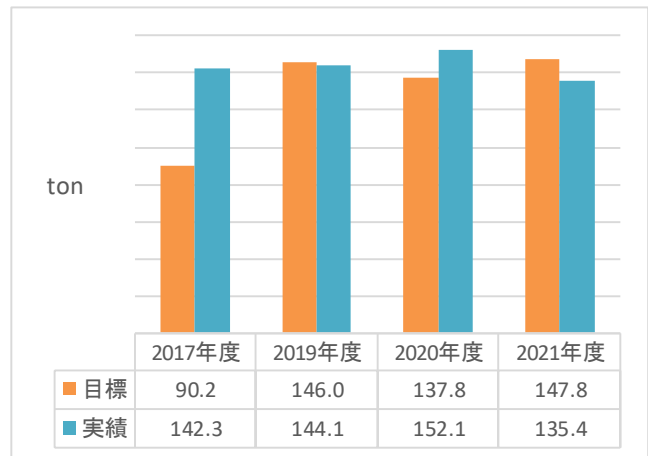


No.5 消石灰使用量の削減

2021年度	目標	147.8 t
	実績	135.4 t
	達成度	8.4 % 削減

主な取組内容

- 設定値の確認と変更
 - ①排ガス除去の設定および応答制御の変更
(PID設定値の再調整) についての経過観察



結果と評価

- 設定値の確認と変更が有効であり、目標を達成できました。

2022年度の目標

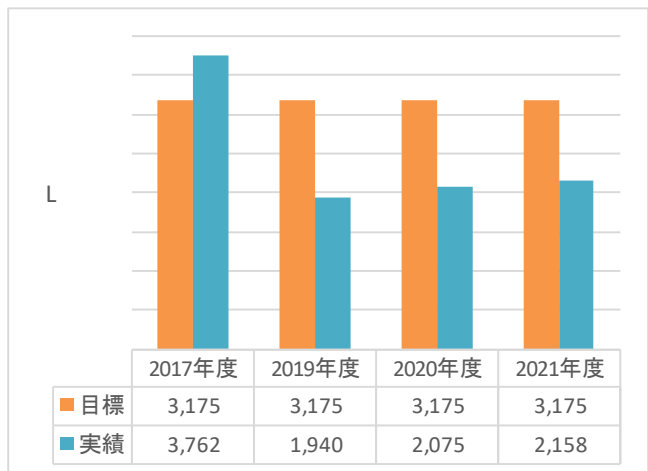
- 設定値の確認と変更

No.6 苛性ソーダ使用量の削減

2021年度	目標	3,175 L
	実績	2,158 L
	達成度	32.0 % 削減

主な取組内容

- 設定値の確認と変更
 - ①灰汚水移送ポンプの運転方法変更についての経過観察



結果と評価

- 設定値の確認と変更が有効であり、目標を達成できました。

2022年度の目標

- 設定値の確認と変更

No.7 塩酸使用量の削減

2021年度	目標	2,542 L
	実績	1,700 L
	達成度	33.1 % 削減

主な取組内容

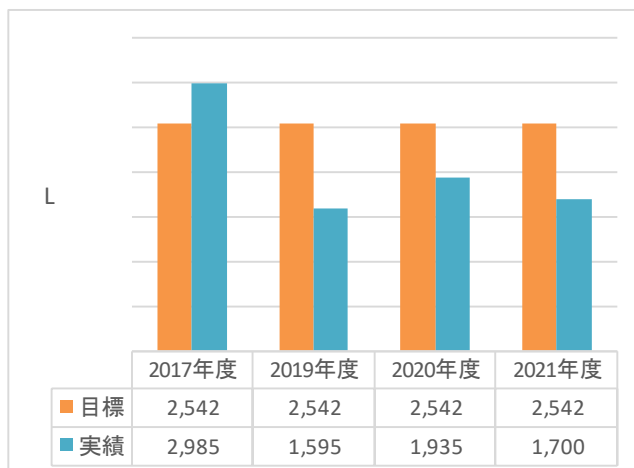
- 設定値の確認と変更
 - ①灰汚水移送ポンプの運転方法変更についての経過観察

結果と評価

- 設定値の確認と変更が有効であり、目標を達成できました。

2022年度の目標

- 設定値の確認と変更



No.8 飛灰処理薬剤使用量の削減

2021年度	目標	14,769 L
	実績	13,293 L
	達成度	10.0 % 削減

主な取組内容

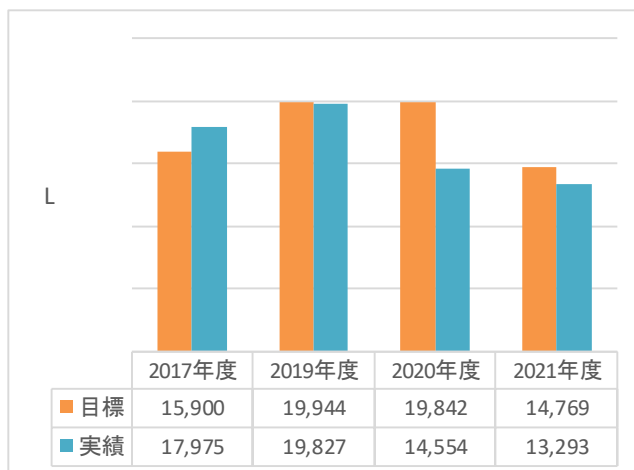
- 飛灰の適正かつ効率的な処理
 - ①余剰薬剤量の自主分析
 - ②薬剤添加率設定変更についての経過観察

結果と評価

- 飛灰の適正かつ効率的な処理を継続的に実施したことにより目標を達成できました。

2022年度の目標

- 飛灰の適正かつ効率的な処理



No.9 上水使用量の削減

2021年度	目標	13,028	kL
	実績	11,444	kL
	達成度	12.2	% 削減

主な取組内容

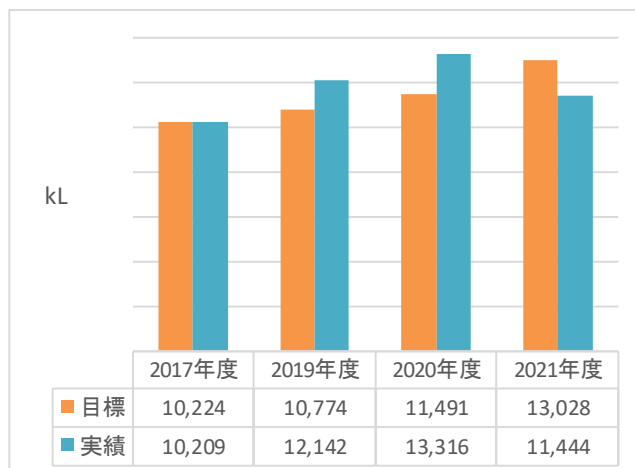
- 上水使用量の確認と無理のない節水
 - ①生活用水の節水喚起
 - ②植栽への雨水の積極利用
 - ③焼却炉の安定稼働

結果と評価

- 焼却炉の安定稼働による炉内水噴霧量の低減と無理のない節水の実施により目標を達成できました。

2022年度の目標

- 上水使用量の確認と無理のない節水



No.10 焼却灰搬出量の削減

2021年度	目標	2,038	t
	実績	1,918	t
	達成度	5.9	% 削減

主な取組内容

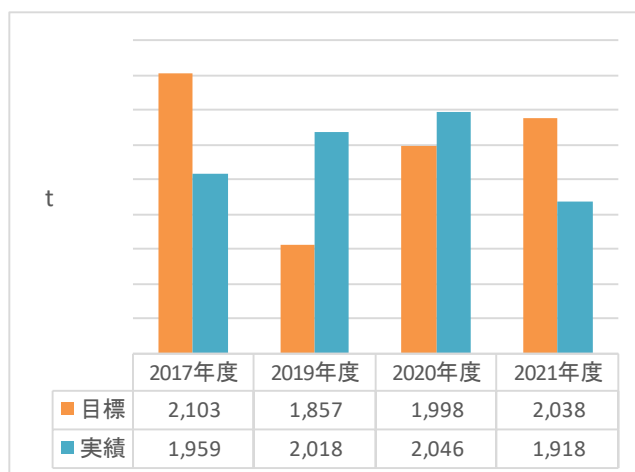
- 焼却炉の安定稼働および完全燃焼

結果と評価

- 焼却炉の安定稼働を継続できたことにより、焼却灰の発生量が減少し目標を達成できました。

2022年度の目標

- 焼却炉の安定稼働および完全燃焼

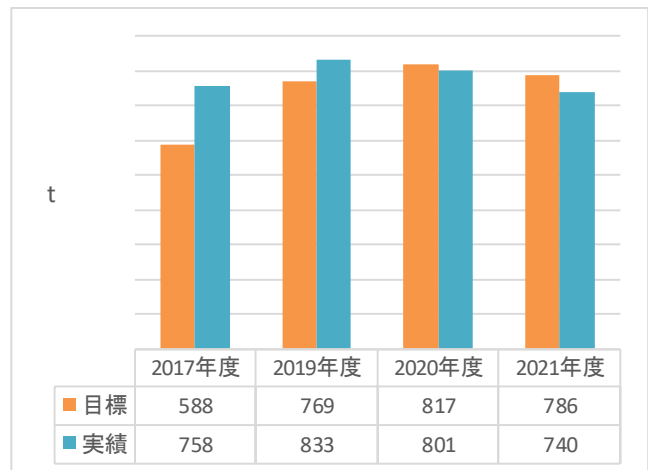


No.11 飛灰搬出量の削減

2021年度 目標 786 t
 実績 740 t
 達成度 5.8 % 削減

主な取組内容

- ・焼却炉の安定稼働および完全燃焼



結果と評価

- ・焼却炉の安定稼働を継続できたことにより、飛灰の発生量が減少し目標を達成できました。

2022年度の目標

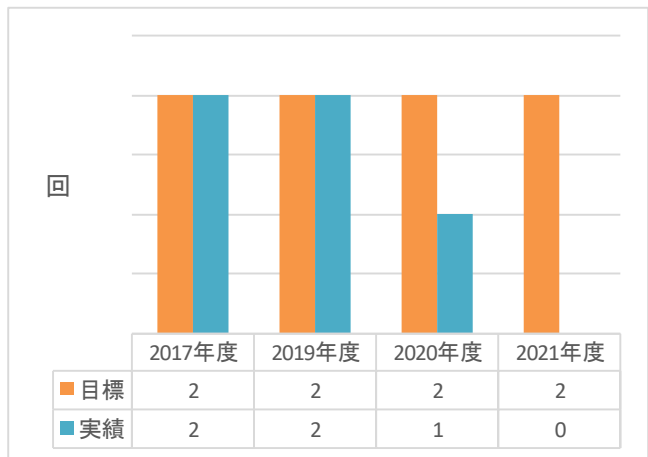
- ・焼却炉の安定稼働および完全燃焼

No.12 イベントの有効性の向上（社会貢献）

2021年度 目標 2 回
 実績 0 回
 達成度 未達成

主な取組内容

- ・イベント実施



結果と評価

- ・コロナ禍によりイベントが実施できませんでした。

2022年度の目標

- ・イベント実施

No.13 緊急停止0（タービン非常停止）

2021年度 目標 0 回
 実績 0 回
 達成度 達成

主な取組内容

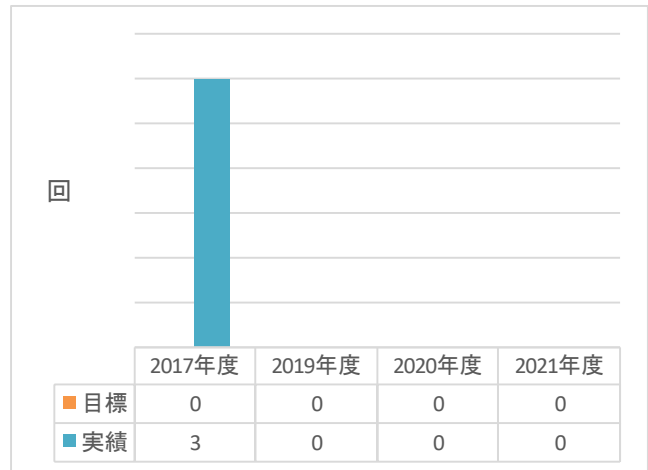
- ・異常の早期発見
 - ①連系する系統側設備についての経過観察
 - ②構内設備の増減に伴う整定値の見直し
 - ③日常・月次点検の実施

結果と評価

- ・電力系統との保護協調が有効であり、系統トラブル（瞬時電圧低下等）に起因するもらい事故等を保護できました。また構内発電設備や受配電設備においても異常がなく目標を達成できました。

2022年度の目標

- ・異常の早期発見および自主保安点検の実施



7. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

本施設に適用される法令等は下表のものが該当し、2022年3月31日現在すべての遵守が確認できています。

また、過去5年間にわたり関係当局から違反等の指摘はありません。


法令等	主な法規制等内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・適切な処理	○
大気汚染防止法	・規制値の遵守	○
水質汚濁防止法	・事故時の措置（事故の有無）	○
下水道法	・規制値の遵守	○
ダイオキシン類対策特別措置法	・規制値の遵守	○
騒音規制法	・規制値の遵守	○
振動規制法	・規制値の遵守	○
悪臭防止法	・規制値の遵守	○
労働安全衛生法	・体制の整備 ・危険・健康障害防止措置	○
作業環境測定法	・作業環境測定	○
消防法	・選任、届出	○
毒劇法	・取り扱い、表示	○
公害の防止に関する条例	・上乘せ基準	○
フロン排出抑制法	・簡易点検 ・有資格者による定期点検	○
岡谷市公害防止条例	・規制値の遵守	○
要求水準（環境関連）	・規制値の遵守	○

8. 代表者による全体評価と見直し

EA21 マネジメントレビュー記録

(1/2)

インプット（審議事項）	アウトプット（見直し結果：代表者指示）
<p>(1)問題事項及び是正処置 （各部署長）</p> <p>① 施設の運営での問題点：なし 外的要因（落雷や水銀混入）によるトラブルがあったがほぼ計画通りの運転ができた。 共通休炉期間において節電計画を実行し、受電電力量の削減ができた。</p> <p>② 改善提案：3件</p>	<p>① トラブル体験を復習し、今後も対応できるよう技能および知識向上に努めること。</p> <p>② 引続き、安全やコスト削減に目を向け改善に努めること。</p>
<p>(2)地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正処置(詳細は年次報告書)（環境管理責任者）</p> <p>① 苦情：地域からの苦情はなし</p> <p>② イベントの総括：新型コロナウイルス感染症の影響により、集客イベントが中止になった。</p>	<p>① 維持するよう努めること。</p> <p>② 今後、コロナ禍を踏まえたイベントを計画する必要がある。</p>
<p>(3)法規制、遵守評価、社会状況の変化（環境管理責任者）（環境法規制等取りまとめ表）</p> <p>① 遵守評価の懸念事項：なし</p> <p>② 新型コロナウイルスの感染再拡大</p> <p>③ 溶接ヒュームおよび墜落制止用器具等の法改正に関して社内の水平展開および現場掲示物の変更等適宜対応した。</p>	<p>① 維持するよう努めること。</p> <p>② 社内マニュアルを遵守し、感染防止対策を徹底すること。</p> <p>③ 引続き、法改正に注視しすばやく対応できるよう努めること。</p>

インプット（審議事項）	アウトプット（見直し結果：代表者指示）
<p>(4)目標の達成状況（事務局）</p> <p>① 共通休炉期間において節電計画を実施、受電電力量の削減ができた。</p> <p>② 炉立上下げについては工程管理が有効であり灯油使用量を削減出来たが、外的要因（ごみに水銀混入）による計画外のバーナ使用が発生しトータルでは灯油使用量が増えた。</p> <p>③ ごみ焼却量低減により炉内冷却水使用量が減ったため、上水使用量の削減ができた。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症の影響により、集客イベントが中止になった。</p> <p>⑤ 電力系統との保護協調が有効であり、タービン緊急停止はなかった。</p>	<p>① 今後も対応できるよう技能および知識向上に努めること。</p> <p>② 工程管理を継続できるよう努めること。</p> <p>③ 適正な焼却計画を策定し、削減に努めること。</p> <p>④ 今後、集客を行うイベント等は難しいと想定されるため、臨機応変に対応すること。</p> <p>⑤ 継続するよう努めること。</p>
<p>(5)負荷の自己チェック、取組の自己チェックの結果（事務局）</p> <p>① タービン緊急停止：なし</p> <p>② 使用薬品量の低減：ポンプの構造を変更し尿素使用量が削減できた。</p> <p>③ 地域イベント：新型コロナウイルス感染症の影響により、集客イベントが中止になった。</p>	<p>① 継続するよう努めること。</p> <p>② 他の機器についても仕様が合っていないことが考えられる。コスト削減に向け他の機器も見直すこと。</p> <p>③ (4)④のアウトプットと同様。</p>
<p>(6)改善の提案</p> <p>EA21の活動 安定安心の活動をさらに推進する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大している中、エッセンシャルワーカーとして、事業の継続を目的とし、より一層危機管理に注意を払い、安定安心の操業を目指してほしい。</p>
<p>方針、目的、目標、EMSの見直しの必要性の言及</p> <p>〈方針〉 <input type="checkbox"/>必要 <input checked="" type="checkbox"/>不必要</p> <p>〈目標〉 <input type="checkbox"/>必要 <input checked="" type="checkbox"/>不必要</p> <p>〈環境経営システム〉 <input type="checkbox"/>必要 <input checked="" type="checkbox"/>不必要</p>	<div style="text-align: center;">  <p>eco ポップマスコットキャラクター えこぼん</p> </div>